

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/22～7/26

・ 7/22(月)

参議院選挙、韓国 LCC が相次ぎ休止、ボルトン氏来日、【異論反論】#投票率の低さなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、参議院選挙については放送法に照らして不十分な点が見られました。また、参議院選挙については検証者の所感を記しました。

・ 7/23(火)

WTO 一般理事会、韓国が竹島を領空侵犯したロシア機を射撃、“宙づり”の異色政治家が欧州のキーマンに、国会のバリアフリー化は？、三菱重工資産の「現金化」申請、【異論反論】#環境省”うなぎ投稿”炎上などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会のバリアフリー化は？については放送法の観点からも印象操作の観点からも問題の見られるものでした。

・ 7/24(水)

WTO 会合 2 日目、首相がハンセン病家族に謝罪、石崎議員の元秘書「数百発殴られた」、英国メイ氏が首相として最後のスピーチなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。WTO 会合 2 日目については検証者の所感を記しました。

・ 7/25(木)

石崎徹議員が秘書にパワハラ、北朝鮮がミサイル 2 発発射、米軍機の事故対応見直し
国会がバリアフリー化などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。

・ 7/26(金)

参院選で躍進したミニ政党、韓国「ホワイト国」除外へ、金党委員長が新型兵器発射を指導などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月22日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 ゲスト：萩谷麻衣子弁護士（企業法務に詳しい）		
検証テーマ：参議院選挙、韓国 LCC が相次ぎ休止、ボルトン氏来日、【異論反論】#投票率の低さ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参議院選挙 ・吉本興業社長が闇営業問題で初会見 ・「京アニ」前日に本社付近で男の姿 ・韓国 LCC が相次ぎ休止 ・ボルトン氏来日 ・IAEA 天野事務局長死去 ・大雨で東海道新幹線が一時運転見合わせ ・特殊詐欺で日体大生に続き慶大生逮捕 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#投票率の低さ ・天気予報 ・選挙 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参議院選挙：結論→放送法に照らして不十分 <p>小川キャスターの「こんばんは、ニュース23です、参議院選挙は開票から一夜明けまして、すべての議席が確定しました。与野党の一騎打ちで明暗が別れました選挙区、それから今回初めて国政選挙に挑み躍進した新しい勢力もありました。」というコメントを導入に以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「今日、会見に臨んだ安倍総理。」</p> <p>安倍総理「新しい令和の時代の国造りをしっかりと勧めよ、と、国民の皆様からの力強い信任を頂いたことに厚く熱く御礼を申し上げました。」</p> <p>ナレ「自民公明の与党で改選議席の過半数を上回る71議席を獲得したことに謝意を示しました。ある自民党の幹部は。」</p> <p>自民党幹部「ちょうど良かったと思うよ。あまり勝ちすぎてもね。」</p> <p>ナレ「選挙から一夜明け地元新潟の自民党県連を訪ねたのは塚田一郎氏。」</p> <p>"記者「この辞任も付度ですか。」</p> <p>塚田一郎「違います。」</p> <p>ナレ「塚田氏はいわゆる付度発言で国交副大臣を辞任。逆風の中挑んだ選挙戦には塚田うじが付度したとされる相手とされる安倍総理や麻生財務大臣も駆けつけました。さらにはこの人まで。」</p> <p>小泉進次郎「私は、付度しません。」</p> <p>"ナレ「しかし、」</p>		

打越さく良（無所属）「上ばかり向いた付度政治から、共に咲く政治へ変えていこうではありませんか。」 "

ナレ「結果は、野党統一候補に敗北、落選しました。」

塚田一郎「私自身の発言、によりですね、大変マイナスからのスタートであったと思います、私自身の結果の責任だと思っておりますし大変申し訳なく思っているところでございます。」

"ナレ「自民党同士で仁義なき戦いが繰り広げられたのが、広島です。」

岸田文雄（自民党政調会長）「広島のご事は、広島で決めさせてもらいたい。」

宮沢洋一（自民党参院議員）「やっぱり溝手さんに対するいじめのような気がしますよね。」

ナレ「ポスト安倍の一人、岸田政調会長のお膝元、広島では、当初、当選五回目のベテラン、溝手顕正氏の一本化で進んでいました。しかし、自民党本部はさらに二人目を出馬させることを決め、新人を擁立したのです。その背景には。」 "

"溝手顕正（参院議員、2012年当時）「まあもう、過去の人だからね。」

ナレ「これまで溝手氏が安倍総理に批判的な発言を繰り返してきたことがあると見られています。」 "

"安倍総理「令和の時代はここにいる岸田文雄さんじゃありませんか、皆さん。」

ナレ「応援に来た安倍総理は岸田氏をこう持ち上げたものの溝手うじとはこの距離感。溝手氏は無所属の候補、自民の新人候補について三番手となり落選しました。」

溝手顕正「二人だすというのはやはりばかけた話だと、あえてノーサイドとは申しませんが、サイドはあるとは思いますが。」

ナレ「当選した河井案里氏は。」

河井案里（自民党）「私はあの、好き嫌いとか個人的な関係で仕事ってというのはやるべきではないと思っていますので、それはもう女らしく、すぱっと、はは。」 "

ナレ「一方、一人区で統一候補を当てて共闘路線をとった野党ですが明暗が分かれる結果となりました。」

"ナレ「立憲民主党は改選議席の倍に迫る 17 議席を獲得したものの前回の衆院選に比べ、比例の得票数は 300 万票以上減りました。」

福山哲郎（立憲民主党幹事長）「我々が減らしたということについては謙虚に受け止めなければいけないと考えておりますが、一定の次への足場はなんとか作れたかな、と。」 "

ナレ「国民民主党と共産党は議席を減らしました。」

玉木雄一郎（国民民主党代表）「次の衆議院選挙を見据えて野党が本気でまとまっていくことをしないと、国民の期待はどんどん離れていってしまうと思います。」

志位和夫（共産党委員長）「総選挙に向けて市民と野党の共闘をさらに発展させ、安倍政権を倒して新しい政治をつくるために力を尽くす決意であります。」

"ナレ「躍進したのは山本太郎氏が立ち上げたれいわ新選組です。比例で議席を獲得、自身は落選しましたが重度の障害がある二人の国会議員が誕生します。」

木村英子（れいわ新選組）「国会に重度の障害者を入れてくれるかな、っていうところから始まりますので、どれだけ合理的配慮が整うかどうかというのがまずいますごく乗り越えなければいけない壁かなというふうに思っています。」 "

ナレ「日本維新の会は 3 つ上澄みし 10 議席に、激戦区東京でも議席を確保しました。」

"ナレ「また、NHK から国民を守る党も比例で一議席を確保しました。」

立花孝志 (NHK から国民を守る党) 「NHK をぶっ壊す」 "

ナレ「一方、今回の選挙の投票率は 48.8%で 3 年前の衆院選と比べて 5.9 ポイント下がりました。過去 2 番めの低さで 50%を割り込むのは過去最低だった 1995 年以來のことです。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「投票率、低かったですね、私達もお伝えの仕方考えなければならぬところがあるのかなと個人的には思うのですが、各党の獲得議席の数改めてここで整理してまいります。自民党がこちら 57 議席獲得しましたが元々の議席からは 9 議席減らしているんですね、で一方野党第一党の立憲民主党は 17 議席ということで 8 議席増やしました、新しい勢力、こうして誕生しているというのも特徴的ではあります。で、これを与野党で比べてみます。自民公明の与党は非改選の議席が 70 議席だったんですけども、今回の選挙では 71 議席を獲得しましたので、過半数、123 を大きく超えました。で、一方自民党だけで見ますと非改選と改選、あわせて 113 議席ということで星さん、これまでもっていた参議院の単独過半数には届かなかったという結果になりますよね。」

星浩「そうですね、自民党が単独過半数を取れないということは公明党と組まない法律も通らないということなので公明党の発言力が大きくなりまして、公明党まああの憲法改正には慎重ですので、憲法改正問題にも影響を与えたいと思いますね。」

小川彩佳「響いてくると、その憲法改正ですけども自公に維新なども加えたいいわゆる改憲勢力の議席見ていきますとこうなります、今回合わせて 160 議席となりました。選挙前は憲法改正の発議に必要な全議席の 3 分の 2 に届いていましたが、今回は 4 議席届かなかった、と。」 "

"星浩「まあ安倍総理おそらく 2 つの選択肢があると思うんです、一つは国民民主党などに手を突っ込んでですね、憲法改正に同調を求めるといこと、もう 1 つは憲法 9 条に自衛隊を明記するなど自民党案を改めてね、野党が乗りやすいようにするということなんですけれども、公明党も慎重ですので 2 つとも私はそう簡単には進まないと見ていますね。」

小川彩佳「はい、加えて、今後の政治課題見ていきますと本当に山積しているんですよ。まず 10 月には消費増税があります、それから日米の貿易交渉があります。アメリカがなにを求めてくるのか。さらに、ホルムズ海峡のこの有志連合に参加するのかどうかということも非常に重要な焦点にある。そして年金の財政検証ですね、これが発表されるということに、星さん、なっていますね。」 "

"星浩「参院選挙があるので、こうした難題は封印されてきたことも多いんですけども、これがもうそうも行かないので一気に吹き出してくると思います、とりわけその日米の貿易交渉から始まりますが、トランプさんは選挙終わったら頼むぞ、と言ってますので農産物の関税の引き下げ、これはまあ避けられない情勢になると思いますね、それからホルムズ海峡の有志連合には自衛隊の派遣、それから財政支援、このいずれかが求められてきますので場合によっては法改正も必要になってきまして、これは冒頭申し上げたように、公明党の了解を得られないと過半数に届かないのでこの辺の調整も非常に難しくなってきますから、選挙後、難題山積という状況だと思いますね。」

小川彩佳「一つ一つがもうどっしりと響いていく感がありますね」

星浩「そうですね。」 "

また、番組のクロージングでも以下に朱記したやり取りが繰り返された。

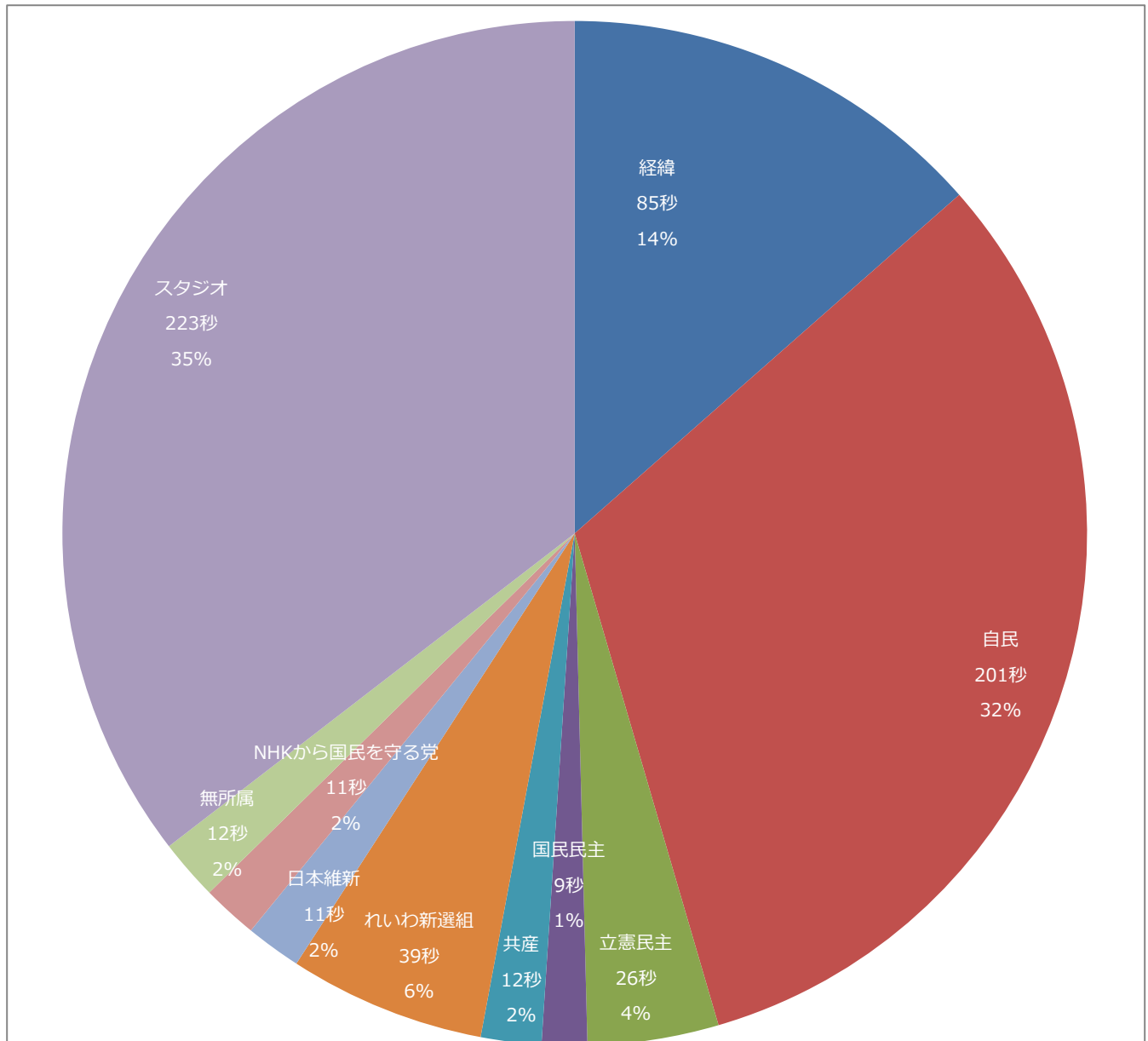
NEWS23 週刊報告 詳細版

"小川彩佳「さあ、今回の参院選投票率が 48.8%、過去二番目の低さでしたね。」

星浩「投票率が低いのはね、だいたい過去、チャレンジャー、挑戦者が弱いと投票率低いんですね、今回ですと例えば自民党の中の安倍さんに対抗する人、それからもちろん野党ですよ、ですからチャレンジャー、挑戦者に奮起を促したいところですよ。」

小川彩佳「そうですね、それから発信の仕方我々色々工夫をしていかないといけないですよ。」 "

このトピックに当てられた時間は 629 秒だった。また、経緯およびそれぞれの政党やスタジオのやり取りに当てられた時間の配分及び比率は以下の通りであった。



今回は自民党に当てられた時間が圧倒的に多かったが、その理由の一つとして、取り上げられていた選挙区のうち広島県選挙区が「保守分裂選挙」として取り上げられており、広島選挙区を取り上げた時間が 107 秒ほどあり、この時間のすべてが自民党を取り上げた時間だった事が挙げられる。「自民党分裂選挙」としての広島選挙区

を取り上げた時間で、与野党対決型の選挙区を取り上げていけば、ちょうど与野党で拮抗するような時間配分となっていたと考えられる。また、広島選挙区で野党系の候補について取り上げていたとしても、もう少し与野党で公平な時間配分が実現できていたと考えられる。

その点から、やや自民党に偏った取り上げ方をしていた報道であり、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」という点では不十分なものであったと言える。

・韓国 LCC が相次ぎ休止：結論→特に問題なし

山本キャスターが「佐賀、熊本両県と韓国を結ぶ 2 つの路線の LCC の運行が休止となりました。韓国の LCC 格安航空会社ティーウェイ航空は佐賀と韓国釜山、熊本と大邸を結ぶ 2 つの路線の運行を 9 月から休止すると発表しました、ティーウェイ航空の関係者は訪日観光客の減少など日本政府による輸出強化、輸出規制強化の影響が全く無いとは言えない、としています。ティーウェイ航空は既に大分と韓国を結ぶ 2 つの路線の運行休止も発表しています。」と伝えていた。このトピックに当てられた時間は 56 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ボルトン氏来日：結論→特に問題なし

ナレーションによって「日本を訪れているアメリカのボルトン大統領補佐官は今日、河野外務大臣や岩屋防衛大臣らと相次いで会談しました、一連の会談では中東ホルムズ海峡での安全確保のための有志連合構想について協議したものと見られます。また、河野外務大臣は徴用工訴訟などをめぐり対立が深まる日韓関係について日本側の立場を説明、北朝鮮による拉致、核、ミサイル問題の解決に向け、引き続き緊密に連携していくことも確認しました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#投票率の低さ：結論→特に問題なし

ナレーションの「昨日行われた参議院選挙、投票率は 5 割を下回り過去二番目の低さとなりました。低水準に終わった投票率についてあなたはどうお考えになりますか、異論反論。」という導入で、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"投票に行った 60 代 A「とても残念なこと、海外の暮らしが長かったので、投票率も高いので当たり前だと思ったので。」

投票に行った 40 代 B「みんなどこかでかけちゃったのかな、遊びに、そうとしか思えないよね。年寄りの人結構行ってるけどね。若い人間が行くようになれば一番いいことなんだけどね。」

投票に行かなかった 20 代 C「責任感してます。っついやべつに、行こうと思ったんですけどちょっとバイトのほうで忙しくて。」

投票に行かなかった 20 代 D「住民票が実家にあるのでまあ行かなかったって感じ、不在者投票もできるんですけど手続きがめんどくさいって聞くといこうかなって気にはならなかった。」

投票に行かなかった 20 代 E「インターネットを使ってというかスマートフォンで安全に投票できたらもっと投票率は上がるんじゃないかな、と。」

投票に行った 20 代 F「びっくりしました。私達が多分選挙に行かないと、世間は変わらないのに、こうやって行

かない人がいるっていうのは許せないですね、」

投票に行かなかった 20 代 G 「いや、何も言えないっすよ。本当にただサボっただけなので、別に忙しいからって理由ではないので、何も言えないですけど。」 "

このトピックに当てられた時間は 90 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・参議院選挙

スタジオでは小川キャスターが「投票率、低かったですね、私達もお伝えの仕方と考えなければならぬところがあるのかなと個人的には思うのですが」と殊勝なコメントをしていたが、全くその通りであると言える。

これまで NEWS23 の検証を行ってきて、確かに選挙戦の序盤では党首討論をセッティングしたりと、選挙を伝える姿勢が見えていたが、投開票前の最後の平日の放送では選挙に一切触れない放送を行っており、やはり伝え方を考える以前に、まず選挙を伝える時間をしっかりと確保するところから始める必要があるだろう。

また。取り上げる選挙区も与党 VS 野党共闘が拮抗する一人区ばかりを選んで取り上げており、今回取り上げたような自民党分裂選挙が行われた広島選挙区や維新の会が躍進した東京や神奈川といった都市型の選挙区については選挙期間中ほとんど取り上げられなかった。また、イージス・アショアの問題では秋田選挙区が取り上げられる一方で山口選挙区は取り上げられなかった。このように番組として伝えたいストーリーありきで恣意的に選挙区を取り上げているという印象も見え隠れしていたが、そうした点も改めたほうが良いのではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月23日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：WTO 一般理事会、韓国が竹島を領空侵犯したロシア機を射撃、“宙づり”の異色政治家が欧州のキーマンに、国会のバリアフリー化は？、三菱重工資産の「現金化」申請、【異論反論】#環境省”うなぎ投稿”炎上		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WTO 一般理事会 ・ 韓国が竹島を領空侵犯したロシア機を射撃 ・ ”宙づり”の異色政治家が欧州のキーマンに ・ 国会のバリアフリー化は？ ・ 「アルビノ」に生まれて ・ 「京アニ」34人の死因が判明 ・ 三菱重工資産の「現金化」申請 ・ 加藤浩次さんが吉本の会長と面談 ・ スポーツ報道 ・ 【異論反論】#環境省”うなぎ投稿”炎上 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WTO 一般理事会 <p>WTO 一般理事会についてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返された（途中で韓国のキム・スンホ新通商秩序戦略室長の語るシーンが挟まれる）。</p> <p>”小川彩佳「早速ですが半導体材料の輸出規制をめぐる問題です、日本と韓国は世界に向けてそれぞれの主張を発信しようとしています。」</p> <p>山本恵里伽「こちら、WTO、こちら世界貿易機関というのはですね、一般理事会、実質的な最高機関です、加盟164の国と地域の大使らが出席します。で、この問題に関してなんですが、韓国側は政治的な目的で行われた経済報復でWTOのルールに反する不当な措置だと主張すると見られているんです、一方の日本ですが安全保証上の懸念に基づく運用の見直しでWTOのルール違反には当たらないと発言するものと見られているのです、で、この一般理事会で何かが決まるというわけではありません。ただ、韓国側は加盟国の反応次第で追い風と感じますとWTOへの提訴を検討する可能性があります。」”</p> <p>小川彩佳「こうしたなか、日本の関係者はどのような姿勢で議論に臨もうというところなんでしょうか、WTOの議場前から中継です。大八木さん。」</p> <p>大八木友之（報告）「はい、日本時間午後五時に始まりました一般理事会なんですけれどもまだ肝心の輸出規制の議題にははいついていません、関係者によりますと日本時間の午前一時前頃にはなんとかその議題に入れるのではないかと思います。今回注目はですね韓国が通商問題のエースを投入してきたことなんです、福島県などの水産物輸入品措置で韓国側逆転勝訴の立役者とされますキム・スンホ新通商秩序戦略室長です。」</p>		

キム・スンホ(新通商秩序戦略室長)「会議が遅れていて今日中に議論できるかわかりませんが最善を尽くします。」
大八木友之「WTO 勤務経験もあるエキスパートが日本の規制が徴用工問題で対抗するための政治的な措置で不当だとして WTO 提訴も視野に国際社会に広くアピールするものと見られます。」

大八木友之「一方の日本側なんですけれども、政治的な思惑により貿易ルールを恣意的に運用しているという印象を各国に持たれないようにしたい考えです。日本政府関係者は取材に対し韓国側の出方にもよるが淡々とこれまでの日本の主張を行うだけだとしていまして、輸出規制が安全保障上必要な見直しであり WTO 協定に違反しないと冷静に対応していくことを強調しています。」

"小川彩佳「大八木さんの報告でした。これまでの主張を冷静に続けていくということなんですけれども日韓の貿易問題 WTO という一つ大きな山場を迎えていますね。」

星浩「そうですね、今日、政府の関係者に効いてみますと、こんな話をしていましたね、理屈では日本に分があるんだけどどうも韓国は情に訴える作戦らしい。つまり日本側は優遇措置をね安保上の懸念から外すだけなんですよ、実務的なことなんですよ、と言っているんですけれども韓国は日本は政治的な思惑があるんだ、それから歴史的な問題、徴用工問題などと絡めて日本が対応しているというのをアピールしていこうということですよ、これは明らかに外交戦になりましたので、日本も表向きの話、型通りの話だけではもう済みませんから、いろんなチャンネルを使ってですね、日本の立場、とりわけその歴史問題についても日本はちゃんと取り組んでいるんですよ、ということきちんとして国際社会に対してアピールしていく必要があると思いますね。」

小川彩佳「戦い方をどこか変えていく必要も出てくる。」

星浩「そうですね、まあ日本の外交力が問われていると思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 231 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・韓国が竹島を領空侵犯したロシア機を射撃：結論→特に問題なし

小川キャスターの「その日韓関係を巡ってもう 1 つ今日、両国が領有権を争う竹島周辺の領空にロシアの軍用機が侵入しました、これに対して韓国が戦闘機を緊急発進させまして、360 発の警告射撃を行いました。竹島をめぐる日韓の争いにロシアが絡んで何が起きているのでしょうか。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられた。

韓国大統領府「このような行為が繰り返された場合遥かに強力な措置をとることになる。」

ナレ「今日、韓国政府が抗議した相手はロシアでした。ロシアの軍用機が竹島の領空を侵犯したと発表。戦闘機を緊急発進させて 360 発の警告射撃を行ったといいますが、これに対しロシア側は領空侵犯を否定しています。」

ロシア国防省「ロシア軍機は竹島から 25 キロ以上離れた場所を飛行していた。韓国の戦闘機が進路に侵入するなど危険な行為を行った。」

"ナレ「領空侵犯はあったのかどうか、日本政府は。」

菅義偉官房長官「ロシア軍用機が 2 度に渡り島根県竹島周辺を領空侵犯したことを認識しており、その認識のもとに厳重な抗議を行った。」 "

ナレ「日常的に日本の領空に近づくロシアの軍用機、ただ領空侵犯についてはこの 10 年間に 4 件だけです。今回、日韓が領有権を争う竹島でなぜ領空侵犯に及んだのでしょうか。」

"ナレ「自衛隊トップの統合幕僚長を務めた河野氏は」

河野克俊（全統合幕僚長）「まず竹島に、領空にロシア機が侵犯したという事例については私の記憶としてはありませんので、今回はじめてのことだ、異例のことだと思います。故意なのかあるいは何らかのミスなのか、ちょっと今の段階ではなんとも言えないです。」

ナレ「自衛隊は日本の領空周辺に防空識別圏という空域を設け、外国の軍用機がはいってきた場合、戦闘機を緊急発進させて領空侵犯しないよう警告を行っています、ただ今回ロシア機の竹島での領空侵犯に対し、警告したのは韓国軍でした。竹島は日本の領土ですが、自衛隊機の防空識別圏には入れていないのです。」

河野克俊「防空識別圏に入れるという措置をとってもそれはいいんですけども韓国が実効支配をしているという現実もありますので、まあそこは政治的な判断として、今までそれは入れなかったということだと思います。北方領土、現時点での防空識別圏にははいっていません。いま係争地として日露間でいろんな交渉があるのでわけですね。」

ナレ「竹島や北方領土など外国に実効支配されている日本の領土については外交交渉で問題を解決するという立場から自衛隊機の緊急発進はしないという原則、北方領土の領空についてはロシア軍機がたびたび侵犯していますが、日本政府はその都度抗議をしているわけでもありません、ただ、今回は韓国側の発表を受け日本政府はロシアに抗議、さらに韓国に対しても。」

菅義偉「韓国軍用機が警告射撃を実施したことについて竹島の領有権に関する我が国の立場に照らして到底受け入れられず極めて遺憾であり、韓国に対し強く抗議するとともに再発防止を求めた。」

"ナレ「抗議の背景について政府関係者はこう解説します。」

政府関係者（音声）「領空に軍用機がはいったら米露なら撃ち落とす、韓国は韓国の主張に基づく当然の対応をしたわけだが、日本としては日本の領土の周辺で射撃なんかしてくれるなど、そういう意味での抗議だ。」

このトピックに当てられた時間は 270 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・”宙づり”の異色政治家が欧州のキーマンに：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてはこちらです。これからのヨーロッパのキーマンとなるのがこの宙づりになっている方です。」というコメントを導入にボリス・ジョンソン氏について以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"ナレ「イギリスの国旗を両手にワイヤーを滑り降りてくる男性、ところが。」

ボリス・ジョンソン「はしごを持ってきてくれ」

ナレ「宙づりの状態に、当時ロンドン市長だったボリス・ジョンソン氏です。来日した際に参加したラグビーのイベントでは、勢い余って少年にタックル。共に倒れ込んでしまいました。そんなボリス・ジョンソン氏、先程政治家として新たなステージに入りました。」

司会「ボリス・ジョンソン氏、新党首に選出です。」

ナレ「辞任するメイ首相の公認を選ぶ保守党の党首選挙で勝利し、新たな首相に就任することが決まっています。」

ボリス・ジョンソン「皆さんありがとう。」

ナレ「注目は EU からの離脱をめぐる立場です。」

ボリス・ジョンソン次期首相「疑念を持っているヤツに告ぐ。我々は 10 月末に EU 離脱を成し遂げる。あらゆる機会を活かし（この国に）” Can Do” の精神をもたらす。」

ナレ「ジョンソン氏は離脱強行は、EU との再交渉でより良い条件が引き出せないなら合意なき離脱も辞さない

としています。」 "

"ナレ「ただ。」

デモ隊「ボリスに NO を。ボリスに NO を。」

ナレ「過激な言動で世論を味方につける手法はトランプ大統領のようだと評されます。」

デモ参加者 A「彼は嘘つきのペテン師、自己中心的で国にとっての災難だ。」 "

ナレ「既に辞任を予告している閣僚もいて、その船では順風満帆とはいかなそうです。」

VTR を受けて中継のアキバ支局長との間で以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

小川彩佳「このジョンソン氏の就任でどうなるのか、ここで現地にいるアキバ支局長に聞きます。あきばさん、ジョンソン氏は経済的なダメージが大きいとされるいわゆる合意なき離脱も辞さないという立場ですけれども、今後の離脱の見通しどうなっていくのでしょうか。」

あきばせいじ（報告）「はい、明日こちらの官邸の主になるジョンソン氏ですけれども、今日もうお聞きいただいたように次の離脱期限である 10 月 31 日に離脱するのだと元気よく言っていました。ただそれまでに複雑な EU との再交渉がまとまるのか、これには疑問があります。ジョンソン氏は合意なき離脱も辞さないという枕詞で語られることも結構多いですけれども、まあ本人は、合意なき離脱の準備はしますよ、と。それで初めて EU に対して強い態度で交渉に臨めるのだと。私は何も合意なき離脱をしたいわけではないんですよ、と言ってはきています。ただ一方で合意なき離脱になったときの影響については今回対立候補だったハント外相と比べるとかなり楽観的に思えるのでいざ EU との交渉がまとまらなかったときに踏み切っちゃうんじゃないかと、そういう心配をする人もいます。まあ、例え合意なき離脱を選択したとしてもですね、議会は強硬に反発するでしょうし内閣不信任案も出されると見られます。ということで EU 離脱の見通し、相変わらず良く見えてこないというのが現状です。」

小川彩佳「引き続き、霧が濃いということになりますね。もう 1 つですけれどもイランとの間でも緊張も高まっていますけれども、この状況の舵取りも引き継ぐということになりますよね。」

あきばせいじ「そのとおりですね、こちらも難題です。イギリスはそもそも強硬派のアメリカとはですね一線を画した形で、イランの核合意も遵守しますよというふうに言ってきました。ところがジブラルタルでイギリス海兵隊がですねイランの原油を積んだタンカーを拿捕して報復でイラン側が今度はイギリスのタンカーを拿捕してということになった、はからずも対イランの最前線に立つことになってしまいました。これからですね硬軟織り交ぜた外交でなんとかタンカーを解放しようとするわけですけれどもその過程でアメリカのその強硬陣営に絡め取られてしまうのか、それともこれまで通り独自外交で一線を画していけるのか、そのへん早速手腕が問われることになると思います。」

小川彩佳「まずこのイランを巡って真価が問われるという事になりそうですね、ボリス・ジョンソン新首相は 24 日に正式に就任します。」

このトピックに当てられた時間は 288 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・国会のバリアフリー化は？：結論→放送法上問題

小川キャスターの「続いて日本のニュースですけれども、国会の早急な対応が求められるということになります。21 日の参院選で新しい政治団体れいわ新選組から出馬した重度の障害のあるお二人が当選しました。そこで

注目されるのが国会内のバリアフリーです、その現状と課題取材しました。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"山本太郎「世界初 ALS の国会議員、船後靖彦さんです。」

ナレ「れいわ新選組から当選した船後靖彦さん。体が徐々に動かせなくなる難病、ALS の患者でもあります。今は自力で体は動かさませんが文字盤などを使ってコミュニケーションを取ります、さらに、」

山本太郎「このように音楽活動もされている。」

ナレ「船後氏は口の中にあるセンサーを使ってギター演奏もしてます、自称、全身麻痺ギタリスト。スローガンは」

音声「肉体の動きは止まった。だが人間の可能性は NOLIMIT 限界はない。」 "

"ナレ「そしてもうひとり、れいわからは重い障害のある国会議員が誕生しました。」

山本太郎「木村英子先生。」

木村英子「先生は本当に困るんですよ。もう今まで差別されてきた身ですから、いきなり差別されてた人がいきなり先生とか言われるのは。」

ナレ「木村英子さんは脳性麻痺を患い介護がなければ生活できないといえます。」 "

ナレ「重度障害者である二人は来週初めて国会にいきます。」

木村英子「国会に重度の障害者を入れてくれるかなっていうところから始まりますので、すごく乗り越えなければいけない壁かな、って思っています。」

ナレ「今から 80 年以上前に建てられた国会議事堂、バリアフリー化が大きな課題です。」

"八代英太（元郵政相）「国会議事堂を改装するなんてとんでもない、とかですね、這ってでも這い上がってでも登って行け、何ていう激励もありましたけれどね。」

ナレ「こう話すのは郵政大臣をつとめた八代英太さん。」

ナレ「事故で車椅子生活になった八代さんはその後参議院選に立候補、スローガンは車椅子を国会へ。」

八代英太「当時は車椅子の人が国会見学もできない時代だったし、会談だらけの議事堂に入るといのは大変なことでした。」

ナレ「当時八代さんが国会議員になったことで始まった国会のバリアフリー化。」 "

八代英太（参院議員、当時）「あの、100 年 200 年とこれからの議会政治の中でわたくしが一つのただ足がかりを作ったに過ぎないと思いますので。」

"ナレ「今日、八代さんはおよそ 20 年ぶりに参議院の中に入りました。」

八代英太「あのときと議場の配置は変わりはないですね、絨毯がおもすぎて車椅子にとっては大変な障害にありますが、はい、大変ですよ。」

ナレ「八代さんが一番驚いたのは車椅子でも利用できる広さのこちらのトイレ。」

八代英太「大きく変わりましたね 42 年前ですからね、あの頃にはまるでなかった。いやあもう一階参議院議員やりたくなかったな。」

ナレ「しかし、機になる点もあるといいます、今回当選した船後さんと木村さん、八代さんと違って大型の車椅子です。」

八代英太「あの電動車いすで果たして議事堂のエレベーターに乗れるだろうか、あるいは委員会室はどうだろう

かといろいろ見ていくとですね結構参議院の事務局はだいぶ悩んでいると思いますよ。」 "

"ナレ「さらに、本会議場にある採決に使われる押しボタン、二人は自由に手を動かさないことからどうやって採決を取るのか検討が必要です。」

八代英太「まあぜひ、こんど障害を持ちながら登院される方を、私が第一期とするならば第二期の新しいバリアフリー構築社会の突破口であるという思いを持ちますのでぜひ頑張ってもらいたいと思います。」

ナレ「参議院は今後の対応について、」

参議院広報課「現状のバリアフリーで対応できない部分を現在調査中です。今後本人や関係者に意見を聞いて協議し議員活動に対応できるよう最大限努力します。」 "

"ナレ「船後さんは一昨日、こう訴えかけました。」

船後さんのコメント「国会に入れてもらうために皆さんはきっといろいろなことを考えてくださると思います、大変な面倒なこともかもしれません、でも、よろしくお願いします。」 "

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「重い障害のある方が国会に入れば自ずと景色が変わりますよね、そして目に見える変化、目に見えない変化も生まれる。そうした変化を見たいという有権者の思いもお二人の候補者を国会に押し上げたのかもしれないというふうに思うんですけども、ここに政治がどう向き合うか、まずは国会内のバリアフリー化ということでしょうね。」

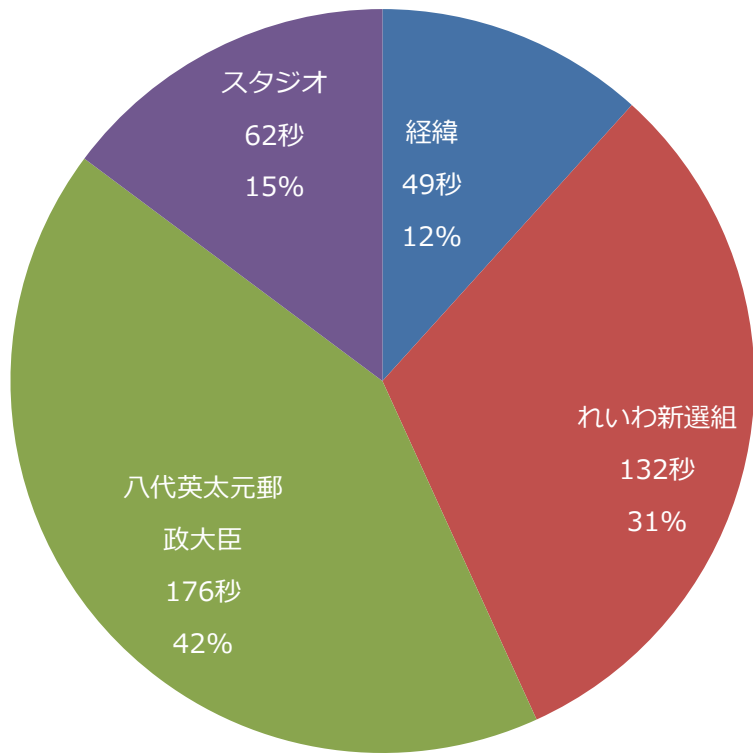
星浩「30年以上国会議事堂を取材しておりますけれども、もしかするとそのバリアフリー化が日本で一番遅れている施設かもしれませんね。昔はね、女性トイレもあまり少なくてですね、土井たか子さんが探し回っていたのを見たことがあります。」

小川彩佳「土井たか子さんの時代もですか。」

星浩「八代さんがでられて少しは改善されてきたけれどもまだまだ不十分ですよ。今回、その船後さんたちがでられてどういうふうに向き合っていくのか、これは施設を作り変えるだけではなくてですね、国権の最高機関である国会が障害者を含む多様性に向き合うかということですので、そこはしっかりと取り組んでも洗いたいと思いますね。」

小川彩佳「来年はオリンピック、パラリンピックもありますからね。」 "

このトピックに当てられた時間は 419 秒で、経緯の説明、れいわ新選組と八代英太元郵政大臣に焦点を当てた場面、スタジオでのやり取り、それぞれへの時間配分と比率は以下の通りであった。



スタジオでは小川キャスターが「重い障害のある方が国会に入れば自ずと景色が変わりますよね、そして目に見える変化、目に見えない変化も生まれる。そうした変化を見たいという有権者の思いもお二人の候補者を国会に押し上げたのかもしれないなというふうに思うんですけども」とコメントしていたが、船後議員や木村議員が当選したのは特定枠だったからであり、また特定枠二人分の議席を確保できたのも、実際には「れいわ新選組」があつめた約 230 万票のうちおおよそ 100 万票が山本太郎候補に投じられた票である。

そもそも特定枠というのは、拘束名簿式的な要素を一部取り入れたものであり、拘束名簿式の順位というのは有権者の思いとは無関係に政党の都合・事情や戦略・戦術で決められてしまうという面もある。

このことから、「山本太郎候補への期待が結果として船後氏や木村氏を国会に押し上げた」ということは言えても、「そうした変化を見たいという有権者の思いもお二人の候補者を国会に押し上げた」というのは明らかに事実と反するだろうし、むしろ特定枠というのはそうした有権者の思いを踏みにじりかねない制度であるとも言える。小川キャスターは「押し上げたのかもしれないなというふうに思う」というようにぼかした表現をしているものの、前段は明らかに事実と反することを述べており、いくら「かもしれない」であるとか「思う」などと予防線を張っていると言っても、スタジオで堂々と「事実と反する」コメントをするというのは、放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」という点に照らして問題であると言える。

・三菱重工資産の「現金化」申請：結論→特に問題なし

元朝鮮女子勤労挺身隊員の支援者らが韓国南西部の光州で会見し、差し押さえていた三菱重工の資産について今日、裁判所に売却命令を申請し現金化手続きに入ったことを明らかにしたとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・【異論反論】#環境省”うなぎ投稿”炎上：結論→特に問題なし

「土用の丑の日にちなみ環境相がうなぎを大事にいただきましょう、と Twitter で呼びかけたところ、絶滅危惧種を食べることを推奨するのはいかなるものかという批判が相次ぎました。この事態にあなたは、異論反論。」というナレーションを導入に以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

40代男性 A 「貴重なものだから、省庁がそういう事言うのはまあしょうがないかなと。」

60代自営業男性 B 「絶滅危惧種だからという話と、食品ロスっていうのはまた違う話だと思うのでやっぱり分けなさいけない。」

70代男性 C 「環境省が推進するのはたしかにね、なんとなく今矛盾するかもしれないですね。だけど美味しいもんね。」

20代女性学生 D 「おかしいなと思ったりもするけど、でもやっぱり高いから関係ないな、と。」

60代主婦 E 「飲食業の方がおっしゃるのならわかるんですけども国の方でそういうのはちょっと違和感が。」

20代男性 F 「炎上まではしなくていいのかなと言うのが個人的な歓送ではあります。」

20代会社員女性 G 「あんな長かったら読む人が少ないと思います。うなぎ大事に食べる、とかそのくらいのほうがわかりやすい。」

ナレ 「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・国会のバリアフリー化は？：印象操作の恐れあり

スタジオで小川キャスターが選挙結果について「重い障害のある方が国会に入れば自ずと景色が変わりますよね、そして目に見える変化、目に見えない変化も生まれる。そうした変化を見たいという有権者の思いもお二人の候補者を国会に押し上げたのかもしれないというふうに思うんですけども」とコメントしていたが、そもそも特定枠というのは政党に割り振られた議席に対して各党の候補者が個人得票の多い順に議席が確定する非拘束名簿式に対して、一部の議席を拘束名簿式にして、特定枠以外を非拘束名簿式で議席を確定させるという仕組みであるから、むしろ有権者の思いとは離れたところで当選者が決まってしまう仕組みと言える。そうした仕組みで当選した候補についてさも「有権者の思いが国会に押し上げた」などというように評するのは、特定枠という制度の持つ性質を真逆のものとして視聴者に誤解させる恐れのある表現ではなからうか。

検証者所感

- ・国会のバリアフリー化は？

検証者も参議院の比例区でも個人名で投票した経験があるが、個人名で投票する場合は、他ならぬその候補者個人に当選してほしい、そういう思いで一票を投じるのではなからうか。そう考えると、やはり「山本太郎」に投票した有権者たちは特定枠を度外視した本音ではやはりいちばん当選してほしいのは特定枠の二人ではなく、山本太郎なのではなからうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月24日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
<p>検証テーマ：WTO 会合 2 日目、首相がハンセン病家族に謝罪、 石崎議員の元秘書「数百発殴られた」、英国メイ氏が首相として最後のスピーチ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木で猛烈な雨により一部に避難勧告 ・ 東京五輪メダルスタジオ生お披露目 ・ 五輪まであと 1 年 ・ WTO 会合 2 日目 ・ 長崎の被爆十字架がなぜアメリカに ・ 首相がハンセン病家族に謝罪 ・ 石崎議員の元秘書「数百発殴られた」 ・ 英国メイ氏が首相として最後のスピーチ ・ スポーツ報道 ・ 【異論反論】 #インスタ「いいね！」非表示 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WTO 会合 2 日目：結論→特に問題なし <p>小川キャスターが「続いては輸出規制をめぐる日本と韓国の問題です。」というコメントに対し山本キャスターが「WTO 世界貿易機関の一般理事会二日目の会合が先程から始まっています、国際社会の反応はどのようなものなのでしょうか」と応える形で導入がなされ、以下に朱記したような VTR が取り上げていた。</p> <p>ナレ「先に会場にはいったのは韓国の通商問題のエーズ、キム・スンホ氏、余裕があるのか笑顔も見られます。その後、日本の伊原大使が遅れて登場しましたが言葉をかかわすことはありませんでした。二日目を迎えた WTO 世界貿易機関の一般理事会、初日の議事進行が遅れたため、日韓の輸出規制をめぐる問題は二日目に持ち越され日本時間の今夜、始まりました。」</p> <p>"ナレ「休憩時間に入り、韓国側は」</p> <p>キム・スンホ氏「全て終わったあとで申し上げた方が良いと思う。」"</p> <p>"伊原純一（在ジュネーブ国際機関政府代表部大使）「韓国の主張の中で冒頭、朝鮮半島からの日本への労働者の問題について言及があったので、私の方からはまず今回の措置は過去のそういう問題とは全く関係のないものである。これは輸出管理制度に基づく措置であるということ述べ、本来ですね、こういったその輸出管理に関わる問題については WTO の場で取り上げるのは適切ではない、と。」</p> <p>ナレ「さらん、韓国側の主張について」</p> <p>伊原純一「韓国は基本的には従来の主張を繰り返していたと思いますけれども、より対話とか協議とかそういうことに力点が置かれていたかな、と。」"</p>		

ナレ「一方、日本側は既に始めているフッ化水素などの輸出規制の強化に加えて輸出管理上の優遇措置が得られるホワイト国から韓国を除外する手続きを進めています。韓国政府は今日、このホワイト国から除外しないよう求める意見書を日本政府に提出したと発表しました。」

"成允模（韓国産業通商資源相）「重大な事案に対し事前の協議もなく日本側が動いたことに対し韓国政府は改めて深い遺憾を表明します。」

ナレ「事前の協議がなかったと主張した韓国側。」 "

"ナレ「これに対し日本側は。」

世耕弘成経産相「韓国側からですね、去年の12月に3月以降に延期をしたいと言ってこられた。延期した側が当然ですね、もうそろそろできるようになりました、と言ってくるのは当たり前でありまして、それをあたかも日本側の責任に転嫁するような発言があったのはですね、信頼関係の観点からも極めて残念なことだというふうに思っております。」

ナレ「世耕経済産業大臣はこうのべ、改めて撤回しない考えを明らかにしました。」 "

VTRを受けて、一部外国の関係者の意見の紹介が入りながら、スタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「ここで会合の様子について現地の八木記者に聞きます。八木さん、先程まで議論が続いていたようですけども今はどうなっていますか。」

大八木友之（報告）「はい、日韓の輸出規制をめぐる議題なんですけれどもこちら会議場ありますがその中の議題、議論は終了しました。現地時間24日午後12時半過ぎから始まりまして、一旦休憩を挟んでも続けられていましたが時間にしておよそ3,40分、実質議論したということになります。で、終了してから韓国の通商担当のキム室長が取材に応じまして、ここジュネーブでもですね、日本側に直接協議を呼びかけたけれども何の反応もなかった、断られた、と何度もですね繰り返してしまっていて、痛烈にその日本を批判しています。」

小川彩佳「この主張にどうなんでしょうか、各国の理解は得られたようでしょうか。」

大八木友之「今回の会議で何らかの結論が出るというわけではありませんのでやはりその各国の理解、国際社会の理解を得ることが重要なポイントになるかと思えます。日本韓国いがいの第三国がどのように受け止めているのか聞きました。」 "

ブルガリア関係者「韓国は熱が入っていた。これは日本が始めた問題だと思う。」

モンテネグロ関係者「二国間で協議して解決すべきだ。」

大八木友之「日本側はこの理事会中も昼休みに各国を招待して昼食会を開くなどして説明を繰り返してしまっていて各国からの反応はすこぶる良い、と非常に手応えを得ているというように話しています。ですが、いくつかの国に効いたところかなり意見が割れています、中には日本がトランプ政権が取るような政策を行いとんでも残念だ、否定はしているがこれは徴用工問題の報復措置だという厳しい声を聞くこともありました。今後、この問題がWTOの場で紛争として扱われた場合どのように国際社会の理解を長い時間をかけて深めていくか、これが重要です。」

小川彩佳「大八木さんの報告でした。外交戦ということになりそうです。」

このトピックに当てられた時間は345秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・首相がハンセン病家族に謝罪：結論→特に問題なし

山本キャスターの「安倍総理が政府が控訴を見送ったハンセン病家族訴訟原告団と面会し、謝罪しました。」
安倍総理「政府を代表して心から深くお詫びを申し上げます。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

林力（ハンセン病家族訴訟原告団団長）「家族を隠し続けるという苦しみをどうぞご想像ください。それはまさに筆舌に耐え難い苦難の人生であります。」

ナレ「安倍総理は原告団に謝罪し、訴訟に加わっていない原告の患者の家族も対象に保障のための法整備を進める考えを表明しました。原告団の団長は社会の誤った認識を正す啓発と教育に国が総力を上げて取り組んでほしい、と訴えました。」

このトピックに当てられた時間は 52 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・石崎議員の元秘書「数百発殴られた」：結論→特に問題なし

自民党の石崎徹衆議院議員の秘書だった 30 代の男性が車やエレベーターの中で石崎議員から毎日のように暴行を受けていたと証言したとことが報じられ、元秘書の男性（30 代）による「殴られた蹴られた回数を言えば、もう何 100 発ってレベルですね、バカ、死ぬ、とかあの、一回死んだほうがいいのか、お前は生きている価値がないとか、もう日常茶飯事ですね。」という証言が伝えられた他、石崎議員から事情を聞いた自民党新潟県連によると石崎議員はパワハラを認め今週中にも会見を開く予定だということと新潟県警は近く石崎議員から任意で事情を聞く方針であるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 45 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・英国メイ氏が首相として最後のスピーチ：結論→特に問題なし

メイ首相の殊勝としての最後のスピーチとして「女性の首相を見たことですべての若い女性は、どんなことでも成し遂げられると確信したはずです。」というメイ首相のスピーチが紹介された他に、ナレーションで「また、メイ氏は EU 離脱に成功すればイギリスに輝かしい未来がもたらされるといいました、スピーチのあと、メイ氏はエリザベス女王に辞任を伝えました。まもなく後任のボリス・ジョンソン氏が宮殿で女王から組閣の支持を受け首相官邸に入りますが、途中、ジョンソン氏の車が環境団体のメンバーに行方を阻まれるハプニングも有りました。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・WTO 会合 2 日目

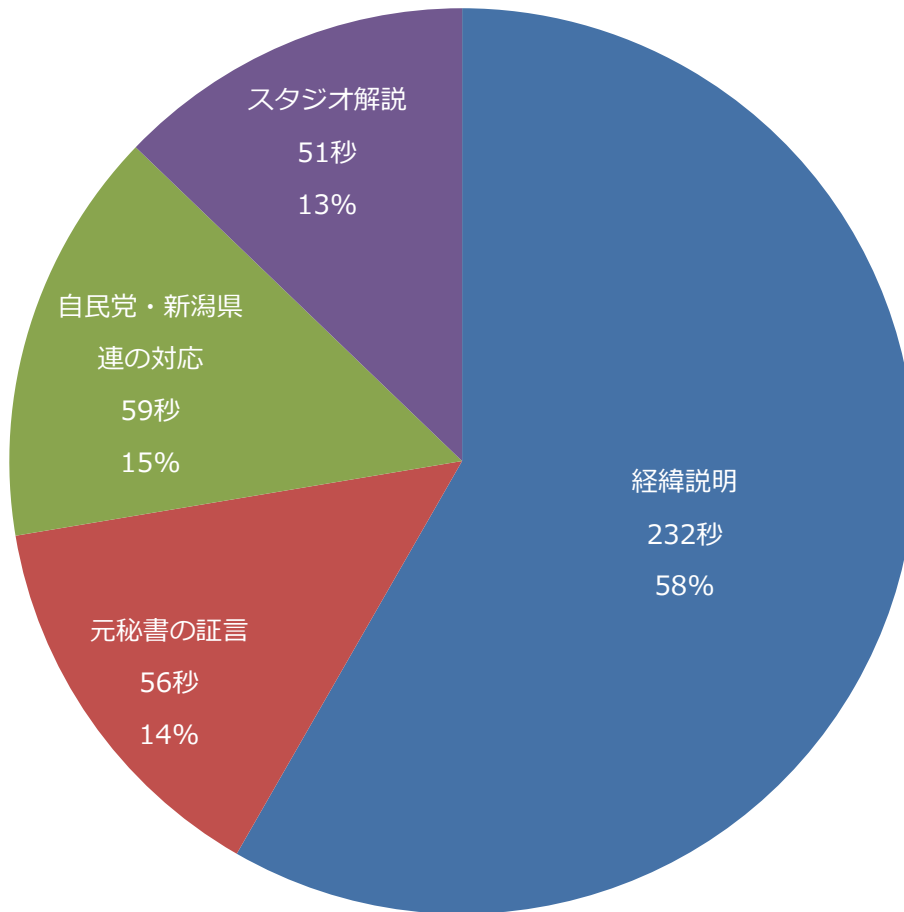
報告の大八木氏が中継から「日本側はこの理事会中も昼休みに各国を招待して昼食会を開くなどして説明を繰り返してしまして各国からの反応はすこぶる良い、と非常に手応えを得ているというように話しています。ですが、いくつかの国に聞いたところかなり意見が割れています、中には日本がトランプ政権が取るような政策を行

NEWS23 週刊報告 詳細版

いとても残念だ、否定はしているがこれは徴用工問題の報復措置だという厳しい声を聞くこともありました。」とコメントしていたが、こうした厳しい声を発したのはどこに国なのだろうか。ブルガリアやモンテネグロの関係者のコメントはどこの国の関係者かを明らかにした上で紹介されていたのに対して、大八木氏の紹介した声はどこの国の関係者なのかが明らかになっていない。その声の主がどこの国伝えたくないから「報じない自由を行使しているのでは」と訝しがられても仕方のないような伝え方であった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年7月25日
<p>出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕</p> <p>【ゲスト】西村匡史（記者）</p>		
<p>検証テーマ：石崎徹議員が秘書にパワハラ、北朝鮮がミサイル2発発射、米軍機の事故対応見直し 国会がバリアフリー化</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年一番の暑さ ・東日本に台風接近 ・石崎徹議員が秘書にパワハラ ・吉本騒動 ・相模原殺傷事件 ・京アニ放火事件 ・北朝鮮がミサイル2発発射 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> ・米軍機の事故対応見直し ・「金剛山歌劇団」団員が覚せい剤所持 ・国会がバリアフリー化 ・小2 女兒が意識不明の重体 ・スポーツ報道 ・# 異論反論 objection 「エースが試合に出られず敗戦」 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石崎徹議員が秘書にパワハラ→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 <p>今回は自民党所属の石崎徹議員が秘書に対して行ったパワハラ問題について報じられた。今トピックに充てられた報道時間は398秒で経緯説明・元秘書の証言・自民「新潟県連」の対応・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「続いてのニュースに参ります。こちらは自民党の石崎徹衆院議員です。財務省のエリート官僚で、28歳の時当時の最年少当選をはたすなど、まさにエリート街道を歩んできた人物なんですけれども、今回週刊誌報道で秘書に対するパワハラ、さらには暴行疑惑まで出ています。地元では離党を求める声、さらには議員辞職を求める声も上がっています。」

石崎徹衆院議員（自民党）「お前よく見とけ、馬鹿が。死ね。逆じゃねえか。おい死ね。御前本当に。早く止めろよ。早く。」

ナレーター「これは自民党の石崎徹衆院議員が秘書に放った暴言です。週刊新潮が報じた石崎議員の暴行疑惑。秘書を務めていた30代の男性が新潟県警に被害届を出し、近く新潟県警は石崎議員から任意で事情を聴く方針です。被害届を提出した元秘書の男性がJNNの取材に応じました。」

元秘書の男性「石崎から殴られて体中傷だらけだった。例えば右足も左足も切れてしまってお風呂に入るたびに

しみる。体中もあざだらけで、夏の暑い時期になって腕まくりしようと思うと傷が見えてしまうわけですね。」

ナレーター「去年九月から秘書になったこの男性。暴行は翌月から始まったといいます。」

元秘書の男性「殴られた蹴られた回数は何百発というレベル。多い時だと 1 日に何十発と殴られる。三日随行したら、うち二日は暴力を受けるという感じ。」

ナレーター「暴行は社内で行われることが多く、毎日のように続いたといいます。被害届を出した男性とは別の秘書に対する石崎議員の発言があります。」

石崎議員「お前今月何日休んでいる。お前返上してやれよ、じゃあ。ふざけた仕事してるんだったら。頭下げろ、お前。正式に謝罪しろ。は？お前死んだ方がいいぞ、お前。おい。言ってない。お前ふざけんじゃねえぞ。おれの大事な時間どう思ってるの。」

ナレーター「石崎議員は問題発覚後、公の場に姿を見せていません。コメントでこう釈明しています。『音声を冷静に聞いてみて感情的な表現があることに変え反省し、恥ずかしい気持ちでいっぱいです。』地元新潟県連の聞き取りに対して石崎議員はパワハラを認めています。しかし、暴行については。」

高鳥修一衆院議員（自民党・新潟県連）「捜査に影響があり弁護士と相談したい。コメントできない。ということでもあります。」

ナレーター「財務省出身の石崎議員は、2012 年に 28 歳で初当選。『最若手ですので、そういう意味では頑張っていきたいと思います。』（石崎議員）『新潟といえば NGT48 か、石崎徹です。』（安倍首相）。』

ナレーター「石崎議員の同期には、『本当に申し訳ございませんでした』（豊田真由子氏）秘書への暴行・暴言の豊田元議員や、不倫で辞職した宮崎元議員。女性問題が報じられた中川元議員などがいて、自民党『魔の 3 回生』と呼ばれてきました。また石崎議員は児童虐待の問題に関心があり、厳罰化に向けた児童虐待罪の創設をめざしていました。」

石崎議員「拷問のような形で殺されてしまう子供たちがいます。こうした子供たちの声をだれが代弁するのかといたら大人しかいない。」

ナレーター「4 月に成立したパワハラ防止法でも賛成票を投じていました。石垣議員の言動を問題視した新潟県連では、今日、緊急の役員会を開きました。」

高鳥議員「事の重大さは自民党新潟県連としては絶対に看過することはできないと。これは役員一致しているところであります。」

ナレーター「県連が一番重い『除名処分』や『離党勧告』などの処分をあす自民党本部に要請するつもりです。同じ自民党の 3 回生議員は。」

三回生議員「今週中に離党するしかないよ。」

ナレーター「一方こんな声も。」

大岡敏孝議員（自民党・3 回生）「彼はすごく熱心に仕事をするタイプなので、それと秘書のスピードが違い過ぎるから、つい怒っちゃうんだらうなあと思います。やはり彼の良さを生かして、同時に事務所のマネジメントを意識して、事務所運営をしてくれればいいんじゃないかなと思う。」

ナレーター「そして先ほど石崎議員は新たなコメントを出しました。」

石崎議員「捜査中の案件については、事実関係を整理し、捜査当局に真摯に協力してまいりたいと思います。そのうえで改めて皆様にお伝えできる 때가 来ましたら、しっかりと誠意を持って説明させていただきます。」

小川「石崎議員は出処進退を明らかにしていませんけれども、秘書が言っていることが本当であれば、これはパワハラというだけではなく傷害事件にもなりかねない事件ですよ。」

星「そうですね。昔もまあこういう破廉恥な議員はいたんですけども、古参の秘書がいたり、先輩議員が叱ったりする場面がみられたんですが、今はそういう風景がなくなっているんですけども、石崎議員の場合は離党は避けられないと思うんですが、最近離党はしましたが議員辞職はどうなるんだとなると政党の方がコントロールにないのでどうしようもありませんということで、結果的に議員に居座るというケースが相次いでいるんですよ。それによって何が起きているかという政治全体の信頼が損なわれてきているということと与野党双方がきちんと自覚してもらいたいと思いますね。」

時間配分を見ると、比較的公平であることが分かる。また、自民党内部にも石崎議員を批判する声ばかりではなく、庇う姿勢を見せている議員もいる報道があることは評価できる。

今回は放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

・北朝鮮がミサイル 2 発発射→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は北朝鮮がミサイルとみられる飛翔体 2 発を発射したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 127 秒で経緯説明・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。

報道の内容は以下の通り。

山本「次です。北朝鮮が日本海に向け、ミサイル 2 発を発射しました。韓国政府は新型の短距離弾道ミサイルと分析しています。」

ナレーター「北朝鮮は午前 5 時過ぎにミサイル 2 発を発射。韓国軍によりますとそれぞれ 430 キロと 690 キロ飛行しました。韓国政府は、今後アメリカとより詳細な解析が必要だとしたうえで、新型の短距離弾道ミサイルだとする分析を発表しました。日本政府は。」

安倍首相「我が国の安全保障に影響を与える事態ではないことは確認しています。」

ナレーター「ミサイルが韓国の分析通りに弾道ミサイルであれば、国連の安保理決議違反にあたりますが、菅官房長官は弾道ミサイルかどうかについては分析中としています。」

小川「北朝鮮が飛翔体を発射するのは 5 月以来ということですが、このタイミングというのはどういうことでしょうか。」

星「主に 2 つあると思うんですが、トランプ大統領は短距離ミサイルについては事実上容認しているの、足元をついて、今度米韓軍事演習があるので、対抗策があるぞとけん制しているわけですね。もう一つは今度米朝協議が始まりそうなんですが、我々はミサイル開発を止めませんよと。リビアのように全部開発を止めてそれによって政権が倒れるようなことはやりませんよと。その意思表示なんでしょう。」

小川「なるほど。一方で安倍総理は今日日本の安全保障に影響ないと確認しているとおっしゃっていました。」

星「アメリカは本土に届かないので、軽視していますけれども、日本は届く可能性が高いわけですから、加えて国連決議違反であることは明確なので、ここはやはり毅然と北朝鮮に抗議の意思を示す必要があると思います。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・米軍機の事故対応見直し→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

今回は日米間で在日米軍所属の軍用機が事故を起こした際に日本側が迅速に立ち入れるようにするという方向で対応を両国で見直すことが報道された。今トピックに充てられた報道時間は 46 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・国会がバリアフリー化→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はれいわ新選組所属の身体障害を持つ二人の議員のために国会がバリアフリー化されることが報道された。今トピックに充てられた報道時間は 19 秒で経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月26日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：参院選で躍進したミニ政党、韓国「ホワイト国」除外へ、金党委員長が新型兵器発射を指導		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日欧で猛暑、フランスでは過去最高 40 度超 ・新たに誕生した 2 つの政党が参議院選挙で存在感を示す ・アニメ制作会社放火殺人事件、容疑者の自宅を捜索 ・韓国「ホワイト国」除外へ ・金党委員長、新型兵器発射を指導 ・相模原 46 人殺傷事件から 3 年 ・青森で小学生が意識不明で発見 ・【金曜第三惑星】瀬戸内寂聴さん、97 歳の今 ・スポーツ報道 ・愛知で小 2 女児が何者かに殴られ重体 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参院選で躍進したミニ政党：結論→特に問題なし <p>今回の報道は、今夏の参議院選挙でそれぞれ 2 議席、1 議席をはじめ獲得したミニ政党「れいわ新選組」「NHK から国民を守る党」についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 228 秒だった。</p> <p>なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り返された。</p> <p>小川キャスター「どこの政党も入れたくない人を入れるのが近道と言っていますが、さすがに違和感を覚えると思うのですが、丸山議員は入党するのですか？」</p> <p>星キャスター「まあ入党する方向だと聞いていますが、政党の命は政策なんですよね。政策がはっきりしないまま、入れたり入ったりするのは有権者の理解を得られないと思いますね。しかし気になるのは今回の参議院選挙でこういう傾向がありまして、自民党、それから民進党から国民と立憲に変わった旧民主党勢力も比例票を減らしているんですね。一方れいわと先ほどの N 国が大きい得票を得ているというわけで、明らかに既成政党離れが進んでまして、特にれいわの勢いはなかなかのもので、既成政党はこのままどんどん食われていくわけで、既成政党もしっかりしないといけない、緊張感をもって望んでいかないといけないと思いますね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国「ホワイト国」除外へ：結論→ <p>政府が安全保証上の輸出管理で優遇措置をとっているホワイト国から韓国を除外するために必要な政令の改正を来月 2 日にも閣議決定する方向で調整することが政府関係者への取材でわかったとのこと、韓国側はこの方</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版

針を撤回するよう求めているが閣議決定されれば来月下旬にホワイト国から除外される見通しであるとのこと
が伝えられた。このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 金党委員長が新型兵器発射を指導：結論→特に問題なし

北朝鮮の国営メディアは金正恩党委員長立ち会いのもと、昨日、新型戦術誘導兵器の発射を行ったと報じまし
たとのこと、発射の目的については韓国軍部に嚴重な警告を送るためなどとして来月に米韓合同軍事演習を予定
している韓国を非難しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で放送法上は特に
問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし